

学年	中学3年	教科	社会	科目	社会		単位数	4
教科書名		中学生の歴史（帝国書院） 新しい公民教科書（自由社）			副教材名	新中学問題集（教育開発出版株式会社）		
コース・クラス		中高一貫						

I. 目標

共通

1. レポート作成や課題学習、発表等を通じて、様々な資料を活用させ、社会的事象を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を育成する。

歴史

1. 歴史的な事柄に対する関心を高め、歴史に対する愛情と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
2. 歴史的な基礎知識と我が国の歴史の大きな流れを確実に理解・習得する。

公民

1. 現代の社会的事象に対する関心を高め、公正な判断力と自ら社会に関わろうとする姿勢を養う。
2. 民主主義や経済・国際的諸問題に関する基礎知識を確実に習得する。

II. 授業のねらい

1. 教材やDVD・課題学習・校外学習・発表コンクールなどを通じて、社会に関する興味関心を持つ。
2. 重要用語・人物などに関する反復学習を通じて、確実に基礎知識を身につける。
3. 事前学習⇒校外授業⇒発表のサイクルで学習に取り組み、思考・判断・表現力を高める。
4. セクションごとに問題演習の時間を設け、初見問題にも対応できる確かな学力を身につける。

III. 授業の進め方

1. 1学期で歴史分野を終わらせ、2・3学期に公民分野を学習する。
2. 教科書の記述だけではなく、資料集や問題集を有効的に活用して発展的な内容を取り入れる。
3. アクティブラーニングを実施し、授業内容の理解を深める。（電子黒板やクラッシーノートの利用）
4. 小テストを学期ごとに複数回実施し、基礎的な知識を身につけると同時に、勉強の習慣を身につける。

IV. 学習上の留意点

1. 単発の記憶ではなく、いつ・誰が・どこで・何をして・どうなったかを関連付けて覚えること。
2. 板書の書き写しだけでなく、授業内の内容を細かくメモを取り、付随する知識も身につけること。
3. 配られた資料は、自己管理すること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験 : 歴史 : 第5章（第1節・第2節） 第6章（第1節）
1学期 期末試験 : 公民 : 序章、第1章、第2章、第3章（第1節）
2学期 中間試験 : 公民 : 第3章（第2節・第3節・第4節） 第4章（第1節・第2節）
2学期 期末試験 : 公民 : 第4章（第3節） 第5章 終章

VI. 評価の方法

- ・各学期の定期試験 ・小テスト、提出物、授業態度 ・課題学習の成果

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	<歴史分野> 第5章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と民族独立の動き 第2節 高まるデモクラシーの意識 第3節 戦争に向かう世論 第4節 第二次世界大戦の惨禍	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●二国間の戦争ではなく、世界大戦が生じたようになった背景、それぞれの同盟の特徴を理解する。 ●第二次世界大戦の背景、戦況など、時代の流れを理解する。 ●戦後社会における、東西冷戦構造を理解し、現代の平和に向けた動きについて考える。 ●現代社会のとらえ方、考え方、公民的な学習の学び方を身につける。 ●民主主義のあり方や日本国憲法の基本原理を理解する。
	5			
	6	<公民分野> 序章 現代日本の自画像 第1章 個人と社会生活 第2章 立憲国家と国民 第3章 日本国憲法と立憲的民主政治		
二学期	7	第1節 日本国憲法の国家像	●定期テスト ●小テスト(複数回実施) ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●民主主義のあり方や日本国憲法の基本原理を理解する。 ●国会、内閣、裁判所、三権分立について、それぞれの働きと共に、なぜそのような仕組みが必要かを理解する。 ●民主政治とその成立過程について理解する。民主政治と国民の政治参加、政治の基本原理について理解する。 ●経済の概念を総合的にとらえ、自らに関わることとして理解する。 ●経済の学習を通して、働くことの意義を考える。 ●政治と経済は連動していることを理解する。 ●国際政治（環境、平和、開発など）における日本の立場を理解する。 ●日本・世界が抱えている差し迫った諸問題について、自らが関係することとして考える。 ●国際的な諸問題に対して、多面的に捉えた上で、「私たちに何ができるか」を考える。
	9	<公民分野> 第3章 日本国憲法と立憲的民主政治 第2節 議会制民主政治 第3節 三権のはたらき 第4節 地方公共団体の仕組みと課題		
	10	第4章 国民生活と経済 第1節 豊かさを生む経済のしくみ 第2節 政府の経済活動 第3節 幸せな経済生活		
	11	第5章 国際社会に生きる日本 第1節 国際社会の仕組み 第2節 国際連合のはたらきと国際政治 第3節 世界と日本の安全保障 第4節 人類の未来と国際社会		
	12	終章 持続可能な社会を目指して		
三学期	1	・グループ学習 「日本の良いところ」を伝える ・3年間の復習		●オーストラリア研修に向けて、日本とはどのような国かを、他国の人に発信できるようまとめる。

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。